

パーソナルファイナンス学会
2015 年度会員総会 議事録

日時：2015 年 11 月 28 日（土）16：40～17：20

会場：福井大学 共用講義棟 K420

出席者数：出席 36 名 + 委任状 24 名 = 60 名

定足数(会員数の 1/10)：19 名

開催に先立ち、桑名会長より出席者数の確認と定足数の確認が行われ、会員総会が成立することが述べられた。効率的に進行するため、一部は坂野副会長から審議もしくは報告がなされるが、報告事項のみの場合には資料を参照されたいと述べられた。

報告事項

1. 各委員会活動報告（配布資料 pp.1-2）

坂野副会長より、資料 1-2 ページの記載のとおり、1)～7) の各委員会の活動について報告がなされた。8) 教育部会については、来年の 2 月まで延長して実施中であることと引き続き協力依頼がなされた。

2. 学会賞・研究奨励賞表彰式

坂野副会長より、学会賞委員会での審査において、研究奨励賞の受賞作と受賞者が決定したことが報告され、桑名副会長より表彰とともに記念の盾が佐藤直樹氏と竹本拓治氏に贈られた。

続いて、佐藤氏より受賞のお礼とともに、受賞作論文の意義と受賞の感想が述べられた。ファイナンスの分野で論文を書くことが初めてであったが、個人の金融（ファンディング、レンディング）は大事な時代が到来すると感じており、受賞は前に押し出していただけだと感じていると述べられた。また、共著者の竹本氏とのコラボレーションという意味で、自身は専攻の社会学的な方法で研究を進めていたが、そこに竹本氏による経済学的な視点が加わり、論文の骨格ができたことが述べられ、共同作業の経緯が説明された。あわせて、『キャリア・アントレプレナーシップ論』（竹本編著）にもファイナンスについての 2 章が書かれており、機会があれば手に取ってほしいとお知らせがなされた。

審議事項（配布資料 p.3）

1. 2015 年度（第 16 期）中間決算報告について

坂野副会長より、会計年度は 4 月 1 日～3 月 31 日までであり、中間決算は 4 月 1 日～9 月 30 日までであるが、予算については 3 月 31 日までであることが説明された。現時点では、収支として黒字であるが、下半期に WEB ジャーナルや後期の委託費が支出されることから、通期では赤字予想であることが述べられた。また、会費納入率については、予算に対して 88%であるとの説明がなされた。ほかの学会と比べても 88%は比較的高い数字であるが、個人会員の減少傾向という問題があり、今

後の対策が必要であることが述べられた。

2. 創設 15 周年記念事業について

坂野副会長より、寄付にお礼が述べられ、プロジェクト研究の進捗状況については大会二日目に報告がなされること、このプロジェクト研究以外でも何らかの方法（シンポジウム等）で成果を発表したいとの抱負が述べられた。単に企画するのではなく、聴講者をどういう対象にしてどのような形で実施するか等、効果的な方法を引き続き検討したいとの報告がなされ、了承された。

3. 名誉会員の推薦について

桑名会長より、前会長の西村吉正氏が推挙され、全会一致で承認された。

4. 2016 年度第 17 回全国大会について

桑名会長より、来年度の大会開催地について未だ決定していないことが報告された。大学で開催するか大学以外の施設で開催するか、複数に案があることから、年内を目途に継続して検討したいとの報告がなされた。私立大学で開催する場合には、入試の日程が優先されるためその日程が決定した後でないと開催候補日を検討できないという事情があり、おそらくは 1 月中には決定できるであろうとの報告がなされ、了承された。

5. 入退会について

坂野副会長より、資料に基づき 5 名の入会と 24 名の退会について説明がなされ、承認された。個人会員は 171 名となった。

6. その他

特になし。

以上

(文責リエゾンオフィス)